

だい ぶ か だい
第 6 部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご
持参ください。

だい かい
第 16 回
まいにち にゅうりょく
毎日パソコン入力コンクール
しゅう き たい かい
秋季大会
か だい
【課 題】
だい ぶ わ ぶん
第 6 部 和文 B
し ぜん きょうせい さと ち さとやま も た ようせい
自然との共生 里地里山が持つ多様性
せいげんじかん ふん
制限時間 5 分

とうじつ ちゅういじこう
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、平成28年5月4日付 毎日新聞社説より引用しました。
(文字数2,000字程度)

かだいぶんしょう きんそくもじ
〈課題文章の禁則文字について〉

毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい
るため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど
おりに入力すると正解になります。

しゅさい
主催

まいにちしんぶんしゃ
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん
一般社団法人

にほん のうりょくけんていいんかい
日本パソコン能力検定委員会

こうえん
後援


そうむしょう
総務省



もんぶかがくしょう
文部科学省


こうせいろうどうしょう
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう
経済産業省ほか


ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく
1行35字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。


けなげにひなにえさを与える親鳥あた おやどり すがたの姿が、なんともほほえましい。
新潟県佐渡市にいがたけん さどしで、いずれも野生下やせい か うで生まれ育そだった国くにの特別天然記念物とくべつてんねんきねんぶつトキの
つがいから、相次いであいっひながかえっている。両親とも野生りょうしん やせいの「純野生ひな」の
誕生たんじょうは、1976年ねん以来いらい40年ねんぶりだ。


ひながその後ご、死しんだケースもあるようだが、トキが人ひとの手を借りることな
く繁殖はんしょくできたことで、野生復帰やせい ふっきの試みは新たな段階あら だんかいに入った。官民挙げての取
り組みくみが実りつつあることをまずは喜よろこびたい。


繁殖期はんしょくきのトキは林はやしの中なかの高木こうぼくに巣すをかける。えさは、ドジョウやカエル、昆
虫ちゅうなどで、巣すの周辺しゅうへんにえさ場ばとなる水田すいでんや草地くさちが広ひろがってれば好都合こうつごうだ。日
本ほんの原風景げんふうけいにも重なるかさこうした里地里山さとちさとやま（さとちさとやま）は、多様な生物たようせいぶつの
宝庫ほうことなっている。トキは、里地里山生態系さとちさとやませいたいけいに支えられて育そだつのだ。


日本産にほんさんトキは2003年ねんに絶滅ぜつめつした。環境省かんきょうしょうは中国ちゅうごくから借り受けたトキの人
工繁殖こうはんしょくに取り組みとくみ、08年ねんから佐渡島さどがしまで放鳥ほうちゅうを始めた。地元じもとの人々は冬場ふゆばも水
田でんに水をため、農薬のうやくや化学肥料かがくひりょうを抑おさえた米作りこめづくに取り組みとくみ、トキのえさ場えさば確保
に協力きょうりょくした。生物せいぶつをすみやすくした水田すいでんの米は「トキ米」として人気まいで、自然
に親しむ観光しんこうへの波及効果はきゅうこうかも期待きたいされている。


トキの野生復帰やせい ふっきは人と自然しぜんが共生きょうせいする試みであり、その鍵かぎを握にぎっているのが
、里地里山さとちさとやまの保全ほぜんと持続可能じぞくかのうな利用りようだといえるだろう。

開発地かいはつちと人の手ひとの入はいっていない自然しぜんとの中間域ちゅうかんいきである里地里山さとちさとやまは、国土面積こくどめんせき
の約4割やくわりを占める。手つかずの自然しぜんに比べて保護価値ほごかちが低いひくと思われがちだが
、環境省かんきょうしょうの調査ちゅうさでは、動物どうぶつでも植物しょくぶつでも、絶滅危惧種ぜつめつきぐしゅが5種類しゅるい以上いじょう生息せいそくする地
域いきの半分はんぶんは里地里山さとちさとやまの範囲はんいにある。

下川したがりや枝打ちえだうちなどをしない林はやしは木きが茂しげって暗くらくなる。すると、生き物いきものも減
る。人手ひとを加えることで、むしろ、多くの生き物いきものが生息せいそくする環境かんきょうが維持いじされて
きたのだ。

だが、里地里山さとちさとやまの環境かんきょうは悪化あつかしている。中山間地域ちゅうさんかんちいきの過疎化かそかで、人の手ひとが入
りにくくなった。都市近郊としきんこうでは、開発圧力かいはつあつりょくがまだまだある。

政府せいふは、10年ねんに名古屋市なごやしで開ひらかれた生物多様性条約せいぶつたようせいじょうやく第10回締約国会議だいいちじゅうかいぎ（
COP10）で、里地里山さとちさとやまのような身近な自然みぢか しぜんの維持管理いじかんりに各国かっこくが連携れんけいして取
り組むくことを呼びかけた。

里地里山さとちさとやまの手入れていを企業きぎょうや市民団体しみんだんたいが手伝てつたうボランティア活動かつどうは各地かくちで広
っている。自治体じちたいには、そうした取り組みとくを積極的せつせきよくてきに後押あとおししてもらいたい。

環境省は昨年、重要な里地里山を全国500カ所選んで公表した。ところが、500選を紹介するホームページには「土地の利活用等に新たな制約や規制等を生じさせるものではない」との注釈がつく。民有地も多く、法的な開発規制は難しいためだろう。500選決定後、環境省から里地里山の保全を主目的とした予算はなくなった。COP10での呼びかけはどこにいったのだろう。◀

里地里山を保全していく上で、新たな懸念材料がある。▶

環境省が猛きん類のオオタカについて、種の保存法に基づく「国内希少野生動植物種」(国内希少種)の指定解除を検討していることだ。▶

オオタカも里地里山を主な生息地とする。宅地造成などですみかを追われて全国的に数を減らし、93年に国内希少種に指定された。捕獲や譲渡、輸出入が禁止され、環境アセスメント(影響評価)では配慮が必要になる。05年の愛知万博では、会場候補地で営業が確認されたため、会場が変更された。▶

最近都市部での目撃例も増え、直ちに絶滅の危機に陥る状況ではないという。希少種指定が解除されても捕獲は規制されるが、里地里山の開発がしやすくなると、自然保護団体は心配している。環境省には慎重な対応を求めたい。▶

都心から30キロ圏にある千葉県野田市の江川地区には、水田や草地など約90ヘクタールの里地里山が広がる。4月下旬、田植えの準備中だった同地区の水田では、トウキョウダルマガエルが盛んに鳴いていた。周囲の樹林帯では、オオタカやサシバなど15種類の猛きん類が確認されている。▶

同地区の水田では、つくばエクスプレスの整備に伴って宅地開発計画が持ち上がった。耕作放棄が進んでおり、住民も賛成したが、用地買収を進めていたゼネコンが経営破綻する。市は06年、自らが出資する農業生産法人を設立し、ゼネコン所有の土地約30ヘクタールを買い取らせた。▶

法人が水田を再生し、一部は市民農園として無農薬化した。2年で夏場にヘイケボタルが飛び始めた。トンボやクモ類も豊富にいる。12年からは、トキやオオタカと同様に里地里山を代表する鳥で、国の特別天然記念物、コウノトリの繁殖と放鳥にも取り組んでいる。▶

根本崇市長は「自然は一度なくなると戻ってこない。今ならまだ間に合う。」

子供たちの将来への投資だと考えた」という。▶

身近な自然を大切に、共生していく。それが生物の多様性をはぐくむ道にもなる。里地里山の価値を、再認識したい。▶

毎日新聞2016年5月4日